

ふたつの楽器、 ふたりの音楽家の独白。

Monologue

二人のモノローグは、ここに集う。
美しさ、激しさ、無尽蔵に潜在するエネルギー、思索とヴィルトゥオーゾ。
芸術と人間とが出会う場所。架け橋となる音楽。
全ての命が絶えない限り、芸術が顕在する。

古田茂稔 (ヴァイオリン)

Violin



福岡音楽学院で5歳よりヴァイオリンを学ぶ。桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン専攻。桐朋学園大学卒業、同大学研究科終了後、アメリカ合衆国に渡る。インディアナ大学音楽学部ヴァイオリン専攻。パフォーマー・ディプロマ取得。ノースウェスタン大学音楽学部にてマスター・オブ・ミュージック取得。1996年より1999年まで、シグニック・オーケストラ・オブ・シカゴのヴァイオリン奏者。1999年より2006年まで、サン・アントニオ交響楽団第一ヴァイオリン奏者。これまでに、朔望、江藤俊哉、江藤アンジェラ、フランコ・グッリ、ブレア・ミルトン、ライナー・ホーネックの各氏に師事。現在、演奏活動とともに後進の指導にあたっている。ヴァイオリン教室フリッツ・ナタン主宰。アコルデ音楽企画、JMC音楽研究所講師。トリオ・ディゾンネ、コルダ弦楽四重奏団メンバー。福岡青年音楽家協会会員。

滝沢昌之 (フルート)

Flute



10歳よりフルートを学ぶ。大阪で若林正史、札幌で松原悠久両氏に師事。東京都立駒場高等学校卒業。国立音楽大学器楽科フルート専攻卒業。石原利矩氏に師事。大学卒業後、デンマーク王立音楽院教授、T.L.クリスチャンセン氏に師事するため、コペンハーゲンへ留学。デンマーク王立音楽院ではイスラエルの打楽器奏者、オロン・シュヴァルツのリサイタルで共演。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマ取得。野口龍氏に師事。金昌国、P.L. グラーフ、T.ワイ、P.マイゼン、瀬尾和紀、大村友樹各氏にレッスンを受ける。日本クラシック音楽コンクール全国大会優秀賞。2006年より福岡を中心に、ソロ、室内楽の演奏活動、後進の指導を行う。トリオ・ディゾンネのフルーティスト。2007年より筑紫野カメロコンサート音楽ディレクター。2009年あいれふにてリサイタル開催。アコルデ音楽企画代表。